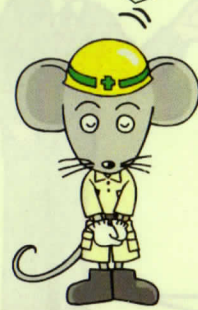


大阪府下の労働者による死亡災害は、前年同時期より増加しています。

また、これからは、日没時間が早くなることや年末に向け作業が輻輳するなど労働災害が増加する要因が加わる時期でもあります。

各事業場におかれましては、「リスク“ゼロ”大阪推進運動」を中心として、「3か月無災害」にチャレンジして下さい。



◆ スローガン ◆

『リスク無くして、ゼロ災害』

チェック項目	
1	職場内で「4S」を実施していますか？
2	職場内で「KY活動」を実施していますか？
3	安全教育・研修を行っていますか？
4	朝礼や夕礼で安全意識の啓発を行っていますか？
5	事業場のトップが安全パトロールを行っていますか？
6	リスク“ゼロ”大阪推進運動に取り組んでいますか？

取り組もう！ 5つの活動

◆ 安全見える化活動 ◆

- 「年間安全衛生計画」を作成し、実行することにより「安全衛生活動」を見える化する。
- 事業場・現場・店舗等の総点検を実施し、「危険場所」、「危険箇所」及び「危険作業」を見える化する。
- 墜落・転落、転倒、はさまれ・巻き込まれ、切れ・こすれ等の危険場所等を「危険マップ」により見える化する。
- 交通事故の危険を感じた事例（ヒヤリ・ハット事例）の収集と交通KYTや交通安全情報マップの活用などで「交通労働災害防止活動」を見える化する。
- 危険有害物質等の有無（作業環境）、ばく露防止方法等（作業管理）を見える化する。
- ストレスチェック制度をはじめとするメンタルヘルス対策、過重労働による健康障害防止対策等の健康管理活動を見える化する。
- 各企業・事業場・現場・店舗等におけるトップ自らが安全衛生に対する取組を宣言し、すべての労働者と安全衛生意識を共有する。
- 建設業における「現場所長安全宣言」を現場の見やすい場所に掲示
- 製造業における「工場長安全宣言」を事業場の見やすい場所に掲示
- 小売業や飲食店の各店舗における「店長安全宣言」をバックヤードの見やすい場所に掲示

◆ リスク評価推進活動 ◆

- 労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針に基づく「年間安全衛生計画」に、リスクアセスメントの実施及び結果に基づく措置を盛り込む。
- 作業毎にリスクアセスメントを確実に実施し、これに基づく低減措置の実施及び残存リスクの見える化を図る。
- リスクアセスメント作業手順書を作成し、これに基づき安全な作業を徹底する。



ご安全に!!

◆ 命綱GO活動 ◆

- 建設現場において、安全帯の確実な使用を徹底するため、安全帯試行訓練（作業前に安全帯の点検を兼ねて、単管等にてフックの着脱訓練を行う）を実施する。
- 安全帯使用の重要性を再認識し、墜落危険箇所では作業員間で相互の使用の確認を徹底する。
- 作業床や手すりの設置が困難な場所での作業時に親綱等安全帯取付け設備の設置を徹底する。
- 二丁掛け安全帯を基本に、高所作業における墜落時の衝撃を緩和するフルハーネス型安全帯の使用を徹底する。

◆ 今日も一日ご安全に活動 ◆

- 小売・飲食業の各店舗内に労働災害防止資料が掲示できる安全掲示板を設置し、災害事例等を掲示することなどにより、安全意識の高揚を図る。
- 店長は、職場チェックリストをもとに店舗内を巡視する。
- 小売業には携帯用の安全チェックシート（あきんど安全カードなど）、飲食店には携帯用の安全チェックシート（食い倒れ安全カードなど）を用い、作業員自らの安全を確認する。
- 交通労働災害を分析し、地域の交差点危険マップ・事故発生マップを作成し、安全掲示板等で周知する。

# 「3か月無災害チャレンジ活動」実施中！

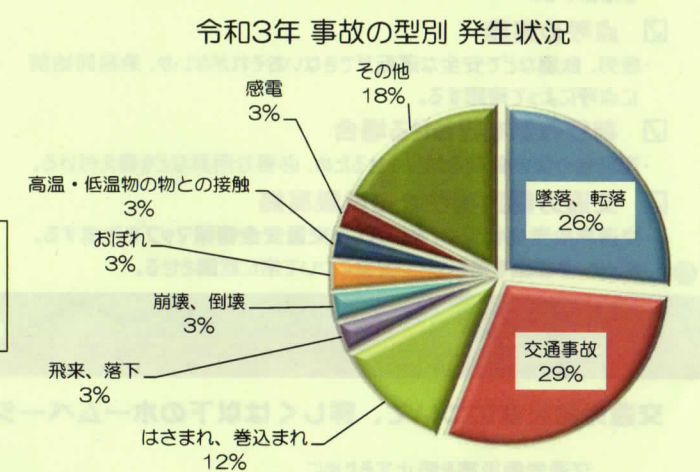
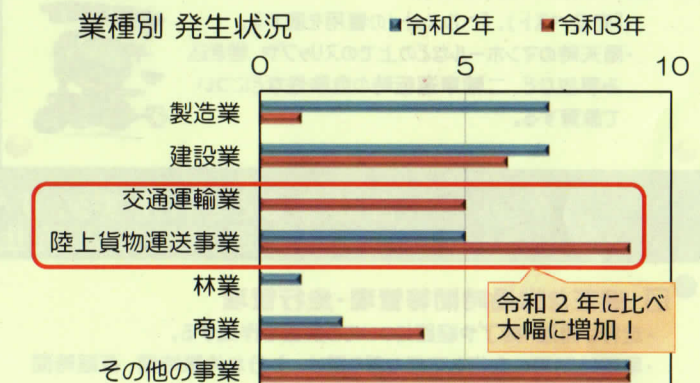
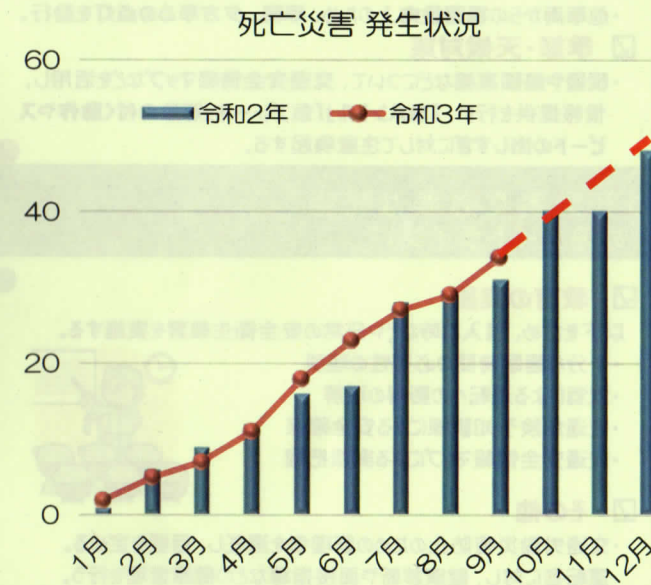
Work on no disaster challenge for 3 months

大阪府下における令和3年の死亡災害は、9月27日現在の速報値で前年同期より増加しており、業種別でも、陸上貨物運送事業が9人と令和2年の1年間の発生より増加となりました。また、事故の型別では、交通労働災害（10人）と墜落・転落災害（9人）で全体の55%を占めています。

このような状況に加え、これからの時期は日没が早くなり、視認可能な作業環境の変化や年末にかけて作業が輻輳することで「あわて作業」になるなど労働災害が増加する要因が加わる時期でもあります。

さらに新型コロナウイルス感染症対策の徹底、交通労働災害の防止に向けた交通ルールの遵守、高所作業におけるフルハーネス型墜落制止用器具の点検の実施、感染予防を含めた健康状態の確認などに全員で取り組むことも求められています。

このことから、10月から12月の残り3か月を無災害で過ごすため、リスク“ゼロ”大阪推進運動を中心として、「3か月無災害チャレンジ活動」に取り組みましょう。



新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、「あわて作業」にならないようにチュウ意するんじゃ！